



# 生衛えひめ

## だより

### 子どもが安心できる存在になろう(2面)

一般社団法人 愛媛県生活衛生同業組合連合会  
 公益財団法人 愛媛県生活衛生営業指導センター  
 [ 理容・美容・クリーニング・興行・旅館・食肉・公衆浴場・中華料理 ]  
 [ 料飲・すし・商・食・鳥・肉・喫茶・社交・飲食 ]  
 松山市本町7丁目2 愛媛県本町ビル2F  
 TEL(089)924-3305(代表) FAX(089)924-3304  
 発行人/大森利夫



## 県生活衛生推進大会

### 積極的な組合加入推進と 脱炭素・国民運動への参加

### 脱炭素・国民運動への参加

第52回県生活衛生推進大会を昨年11月10日、松山市内のANAクラウンプラザホテル松山で、関係者約120人が参加して行なった。式典の前には第一部として、環境省が進める「デコ活」(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)への対応を生活衛生13業種がそれぞれの発表を行った。(その内容は2面に掲載)

私共も一層のカーボンニュートラルに務めたいと思います。さらに今大会では、慢性的な組合員減少に対して、組合加入のスローガンを掲げ、積極的な組合加入推進をもめざしたい」と今大会の趣旨説明を行った。

その後、行われた推進大会、愛媛県生活衛生同業組合連合会(以下「県生活衛生連合会」)の川中勇副会長が開会宣言、その後挨拶で大森利夫会長は「デコ活は国民運動です。私共は、これまで、各理事長さんと打ち合わせしながら、内容は先ほどの記者発表のとおりですが、大阪・堺市では「フライトフライプロジェクト」を立ち上げ、廃食用油を飛行機に使い、2030年には燃料比10%をめざしたいという計画。

県生活衛生連合会会長表彰は16人が受賞した。代表として美容組合の平岡美智子さんが知事表彰を、また、理容組合の加藤洋一さんが連合会長表彰を受けた後、受賞者を代表して社交飲食業組合の水野治代さんが謝辞を述べた。次に来賓祝辞に移り濱里要副知事が中村時広知事の祝辞代読、「式典に先立ってのデコ活の発表会を行ったとのこと、脱炭素社会の実現には、行政、事業者、県民が一丸となった取り組みが必要で、人々の日常生活に不可欠な生活衛生業の後押しは時期を得たもので



す」との言葉があり、その後、福羅浩一県議会議長、野志克仁松山市長(藤田仁副市長代読)の祝辞があった。

引き続き大会宣言を県生活衛生指導センター1佐々木淳副理事長が、決議文朗読を生活衛生連合会龍山一俊副会長が行い、次に会の発展を願う万歳三喝を、砂田市雄県生活衛生指導センター副理事長が行い、懇話会に移った。

### 決議

- ◆ われわれは、2025年の推進大会の開催にあたり、デコ活(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)に取り組み、地域の人々の生活を守ることにする
- ◆ われわれは、地域社会と共に歩む生活衛生業として、デジタル化による業務の効率化、生産性向上、働き方改革、インバウンド需要の取り込み等々により経済の振興に一層努める
- ◆ われわれは、生活衛生連合会の一員としての誇りを持ち、組織強化と会員の加入の推進を図る

以上決議する

令和7年11月10日

第52回愛媛県生活衛生推進大会



### 健全なる営業を願って

2026年 年頭所感  
 全国生活衛生同業組合中央会理事長  
 愛媛県生活衛生同業組合連合会長  
 大森 利夫



2026年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

当連合会へは格別なるご協力を賜り感謝しています。生活衛生推進大会、この2、3年を振り返るだけでも、SDGs(持続可能な開発目標)に対しての対応や、今後30年以内の発生確率が60%、90%程度以上といわれている南海トラフ巨大地震に対する「備えあれば憂いなし」

への取り組み、さらに昨年11月の、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」に対する生活衛生業としての工夫等の記者発表を行いました。食肉を中核とした中華組合は、使用済み天ぷら油の回収リサイクルの実演をしたり、理容はLEDディスプレイ・メンズエコヘアスタイルの発表、さらに各組合は特徴ある報告等々、報道関係のカメラ数から見ても注目され

### 大会宣言

街にはインバウンド需要等の好調により、観光客も増え、経済に活気が戻りつつある。一方で、物価高騰、人手不足など、小規模事業者の多い生活衛生業を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況におかれている。そのような中であっても、地域に根差し、地域とともに歩んできた生活衛生業としては、最も重要な県民生活の安全・安心な高度なサービス提供とより積極的な社会課題への取り組みを果たしていかなければならない。

そのためには、組合の団結力・組織力を活かしながら、本年はデコ活、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動に力強く取り組んでいくこととする。

令和7年11月10日

第52回愛媛県生活衛生推進大会



冒頭、中村時広知事が挨拶に立ち、県生活衛生連合会の積極的な事業展開を評価すると共に愛媛県がめざす諸行事への思いを力強く述べた。

その後、愛媛県議会・生活衛生連盟中畑保一会長の乾杯で、表彰者への祝賀の宴に移り、渡邊博幸指導センター理事長のかけ声で中村知事、大森会長が壇上へ進み、スポンサー応援で使われる「三三七拍子」で大会の幕を降ろした。

(なお、当日の表彰者名並びに7年度生活衛生関係表彰者は本ページ掲載のとおり)

### 愛媛県知事表彰

- 「理容能智 隆(新居浜)
- 安永 武史(松山)
- 兵頭 寛治(西予)
- 「美容」向井 雅美(四国中央)
- 平岡 美智子(今治)
- 「公衆浴場」山下 源春(宇和島)
- 「料飲」須原 信江(新居浜)
- 山内 幸男(西条)
- 大下 育男(内子)
- 「社交飲食」水野 治代(松山)

### 県生活衛生連合会長表彰

- 「理容」松本 浩一(松山)
- 田中 泰利(大洲)
- 加藤 洋一(八幡浜)
- 村上 晃一(宇和島)
- 「美容」田淵 大佑(西条)
- 伊藤 茂樹(西条)
- 森田 三枝子(今治)
- 「クリーニング」大西 輝和(四国中央)
- 「公衆浴場」砂田 昭重(今治)
- 「旅館ホテル」奥村 晃弘(松山)
- 「食肉」越智 豊松(山)
- 「料飲」福田 基司(西条)
- 大西 満子(松山)
- 「すし」商 森田 尚宏(松山)
- 「社交飲食」安田 和広(松山)
- 高橋 宏典(松山)

### 令和7年度 各種表彰受賞者

#### ◆愛媛県功労賞

「旅館ホテル」新山 富左衛門(松山)

#### ◆厚生労働大臣表彰

「理容」石山 緑(松前)

「美容」酒井 勝子(新居浜)

#### ◆厚生労働省健康・生活衛生局長表彰

「美容」松下 信也(新居浜)

「食肉」高田 正男(内子)

「料飲」奥長 光男(内子)

#### ◆全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰

「理容」近藤 正泰(今治)

「旅館ホテル」榎垣 政重(今治)

「料飲」長野 一生(松山)

「旅館」智子(松山)

#### ◆全国生活衛生同業組合中央会理事長感謝状

「旅館ホテル」伊東 祥子(松山)

「料飲」渡部 讓(松山)

### 表彰式典 — すべては心がつくり出す

表彰を受ける側を受賞者といい、表彰を行う者を表彰者(授賞者)、プレゼンターという。また受賞者の敬称には「様(さま)」と「殿(どの)」があるが、最近では「様」も多く、丁寧な印象を与える。「殿」はフォーマル感があり、団体や協会組織には多く、スポーツ表彰なども「殿」が多い。また表彰を行う者は、賞状盆に載せている表彰状を受け取り、読み上げ渡すが、介添人の胸通り(胸の高さに持つ)の円相の心がけ、すなわち神へのお供え物をするように、息がかからないよう、

力をぬき、脇をしめず、指をそろえて、両手で木をかかえるように円を描くイメージが必要という。私は第52回愛媛県生活衛生推進大会で16人の皆さんを表彰させていただいたが、令和7年に表彰状授与の御方々を瞬時に浮かべただけでも、全国生活衛生中央会長表彰151人、全国理容連合会表彰67人等々、今年だけを指折ただけで250人の方々は超えるだろう。(全国理容連合会理事長就任以降を思うと、5,000人以上となる)と考えると授与する者の責任は、富んだ視点で

見て、考えてその式典に臨むことが重要で、受賞される方の功績を認め称賛し支援する役割が大切で、受賞者のモチベーション(やる気)を高めるための式典を保つよう心がける必要がある。私は、そこまでの自覚があったかと反省しきりである。昨今は何事も簡略化の傾向であるが「一切唯心造」(すべては心がつくり出す)、その重大さを自らの心得としておこう。ご受賞された皆さま、おめでとうございます。(大森利夫)



# 積極的参加を『デコ活国民運動』

昨年の11月10日、愛媛県生活衛生推進大会を前に時代が抱える環境問題、カーボンニュートラルをめざそうと13業種が対応できる「デコ活」の発表会を開いた。その冒頭大森利夫会長は次のように述べた。

生活衛生業は県民の暮らしに身近で、それぞれの生活に不可欠な業であり、その折々に応じた社会貢献事業等に取り組んでいます。

今年は環境省が主体となって進めている、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」に、生活衛生13業種が出来ることから工夫、発表しようと臨みました。

2030年までには、廃食用油活用で全体の10%利用をめざしています。市町村によっては、「Fry to Fly Project」や「天ぷら油で走ろう」等々のテーマを掲げて、この事業に取り組んでいます。私共も、食肉・食鳥肉や飲食関係の業は、最終段階で出た油は燃料利用となるだけに、そのリサイクルは大切です。

さらに地域に密着した生活衛生業は、家庭用廃食用油の回収呼びかけを行いましょう。環境保全は次の世代への何よりの贈り物です。

12月は、「地球温暖化防止月間」(6月は環境月間)です。

愛媛の生活衛生業13業種はこれまでの取り組み、そして今後の計画についての発表をそれぞれ行います。

カーボンニュートラル(温室効果ガスの排出量と吸収量を差し引きゼロにする状態)に、今を生きる者、皆の務めとしてめざしましょう。

(その後のそれぞれの発表内容は下記のとおり)



## 【理容】

今年は環境負荷軽減をキーワードとした、ばばっと1・2分でオシャレにスタイリングできる「エコスタイル」を発表。また同時に「デコ活国民運動」を一般に広く周知するための川柳をも募集、「デコ活でエコとオシャレの二刀流」の句などを選びました。

さらに、2026年は、この度のエコヘアスタイルを理容の全国大会の種目としてみようと思っています。

次世代を背負う若者に胸を張って言えるエコ活動の輪を広げていきましょう。



## 【美容業】

組合で進めているデコ活は、節水型シャワー設備の導入、省エネドライヤーの使用、髪の毛のヘアドネーション、詰め替え製品を活用し、プラスチック容器を減らす。店舗におけるデコ活の取組事例としては、蛍光灯をLEDライトに取り換える。空気循環型サーキュレーターの設置、空調機は定期的に清掃を行う。窓の断熱、効率的な給湯設備、空調の導入、お客様の送迎、訪問美容時のエコドライブの実践に務めています。

## 【クリーニング業】

クリーニングではウェットクリーニング技術の推進による溶剤消費を削減、ハンガーの回収、再利用キャンペーンなどを行っています。

また、衣類のリフォーム、リペアによる「長く着る文化」の普及を行っています。さらには、洗濯ネット利用推進や、詰め込み防止の啓発による節水、紙資源からリサイクル可能資源への転換などを進めています。

## 【興行】

映画館としましては、水道光熱の使用量を抑える営業を行っています。映画館は天井も高く、広いところでの営業ですから夏場は28度、冬場は20度に抑えることによりまして、デコ活の一翼を担っていると考えています。

また、LED照明に変えることにより、消費電力の軽減、またゴミの分別や削減に努めています。さらに、映画館でもフライドポテトを揚げておりますが、この時の廃油もリサイクル業者を通じて、再利用に努めています。日々のこういった細かなことから温暖化の軽減になると考えております。

## 【公衆浴場業】

デコ活の一環として、シャワーヘッドを節水型に変えるということです。各店に何十個とありますので、効果があると思います。

また、公衆浴場は、井戸を持っておりますので、その井戸水を利用して水冷型パッケージエアコンを設置しまして、燃料の省エネにつなげています。

また、公衆浴場は、家を解体した折の廃材とか、製材から出る廃材を利用して、湯をわかつております。この廃材利用は、自然エネルギーであり、そこでお近くの公衆浴場を利用いただくと、各家庭でお風呂を沸かさなくていいということになる。これが一つのデコ活になるかと思えます。銭湯をご利用下さい。

## 【旅館ホテル】

「おいしい食べきり宣言」に取り組んでいます。また、節水型、省エネルギーやペットボトル削減も合わせて進めます。

さらに道後では道後油田化プロジェクトとして、廃油はそのまま油田として置き換えることができるんじゃないかと、バイオディーゼルに利用していただくというのも考えているところであります。



子どもが安心して暮る存在になろう

## 【食肉】

今回のデモンストレーションのメンチカツの食材は、地産地消、特にあかね和牛、そして愛媛県産の豚肉を挽き肉として使用しています。そして、最終段階で出ました油は、紙でこし、最終的にボトルに入れ、再処理します。その油につきましては、化学処理をして、バイオディーゼルエンジンなどの燃料として、ボイラー、トラック、バスなどの燃料として使います。また、飛行機、船舶用の燃料としても使用しています。また肉の油は、石鹸、ペットフード、飼料、そして肥料などに使われます。牛の皮とか豚の皮はバッグとかハンドバッグとかに、牛の骨はニカワとして天然の接着剤や良質なコラーゲンに再使用されるということです。



## 【食鳥肉】

食鳥肉組合としてのデコ活事例は、食品ロスゼロを目指した取り組みです。また鶏をさばいた後の在庫過多とならないように商品をいち早く出荷することに心がけたいと思います。また、蛍光灯をLEDシーリングライトに取りかえたり、照明の時間の細かい節約といったことも考えてみます。

## 【中華料理】

中華料理組合では、地産地消でおいしく食べて、地球を笑顔にデコ活を、ヒメカラを実演します。ヒメカラとは、組合で開発した愛媛の唐揚げのキャッチコピーで、愛媛の柑橘を使用した料理です。

本日の「ヒメカラ」は愛媛県産松山鶏に、愛媛県が38年連続で生産量日本一の裸麦の粉を使用しております。そして地元野菜を散りばめたエコ唐揚げです。

今回の「デコ活」中華料理のポイントは、地産地消で輸送距離を短くして運搬時のCO<sub>2</sub>を削減、環境負荷を軽減します。

みかんや野菜は、規格外を活用し、野菜は皮まで使い、廃棄物を極力出ないよう食品ロスを軽減し、廃棄処理に伴うCO<sub>2</sub>も減らします。揚げ油は、植物性を使用してヘルシー。そしてガス燃焼はCO<sub>2</sub>が発生しますので、省エネ家電のIHを使用しております。試食用の折はエコ素材を使用しています。

揚げた油は、回収して、バイオディーゼル燃料として再生します。軽油の代わりにバイオディーゼル燃料を使用することで、化石燃料の使用を削減でき、資源の有効活用になります。植物由来の燃料であるため、大気中の二酸化炭素を増加させない、カーボンニュートラルと呼ばれる特性を有し、地球温暖化の抑制になります。

## 【料飲業】

料飲業組合は、食品ロスの削減では、食べ物の持ち帰りなどを行っています。愛媛県が推奨している食べ切り宣言というのを利用して、お持ち帰りの促進の店内ポスターの作成などを考えています。また、そのための研修会、食品衛生ガイドラインセミナーなど予定しています。

## 【すし商】

すし商組合では、地産地消を進めると共に、タイのアラから大根のヘタまで、生ゴミを少なくすることの周知徹底に務めているところでです。

## 【喫茶業】

喫茶組合では、食材を地元産を使い、食べ残さないよう大中小のご飯にするという感じになっています。それと、コーヒー豆の豆かすの活用が最近言われまして、肥料として畑に撒いたりしております。

店舗におけるデコ活ですが、LEDシーリングライトに変えることや店舗内の気温も夏は28度、冬は20度を目安にするとか、細かなことを我々小規模な店は努力して行おうと話し合っております。

## 【社交飲食業】

社交飲食業組合では、愛媛県産の食材とか地酒、クラフトジン、クラフトウイスキーとかの提供をしたいと思っています。

今までは地産地消イコール地域経済のためという考えでいましたが、今回勉強させていただいて、輸送におけるCO<sub>2</sub>の削減とかで、進めていければと思います。

また、今後は冷蔵庫の温度適正化であったり、省エネ空調といった地味なところからコツコツやっていきたいと思っています。

## 「生活衛生」×「デコ活」セミナー

厚生労働省生活衛生関係営業対策事業の地域活性化連携事業を活用して、「デコ活」についてを学ぶセミナーを開いた。

- ◆日 程 令和7年8月25日(月)
- ◆場 所 道後温泉花ゆづき(松山市道後湯月町4-16)
- ◆講 師 一般社団法人地球温暖化防止全国ネット事務局長 平田裕之氏



- ◆演 題 気候変動と商売とデコ活のつながり
- ◆参加者 60人

講演では、気候変動が商売や地域経済に与える影響(異常気象による農産物・観光・流通への影響、温暖化防止対策をとらなかった場合の状況)や、具体的な省エネ適応策(内窓設置、節水シャワーヘッド、LED照明、省エネエアコン)のほか、全国各地の先進事例(旅館でのアメニティプラスチックごみの削減、酒造会社や島しょ部でのEV活用等)の紹介などがあつた。最後に質疑応答もあり、ファッション業界のCO<sub>2</sub>排出問題に関して話された。



愛媛県地球温暖化防止キャラクター ストッピー

### 廃食用油の回収に参加して、特典をGETしよう!

「エコえひめ・ストッピーポイント制度」は、環境に配慮したエコ活動を推進する愛媛県独自の制度です。その1つである『廃食用油の回収』への参加にポイントが付与され、ポイントが貯まったら特典と交換することができます。

回収した廃食用油は、バイオディーゼル燃料となるほか、SAF(持続可能な航空燃料)の原料として活用されることにより、CO<sub>2</sub>排出量や廃棄物の削減につながります。

県では、株式会社ダイキアクシス・サステイナブル・パワーと連携して本制度を実施しており、県内のホームセンターDCM及び市役所・役場等で廃食用油を回収しています。

### 特典をGETする方法!

- ①使用済み天ぷら油を回収場所に持参。  
ポイントカードをもらい、ポイントをもらう。
- ②使用済み天ぷら油ペットボトル1本につき、スタンプ1個GET!
- ③10ポイント貯めると、県内のホームセンターDCMで50円割引券として使えます。
- ④さらに、ダブルチャンス  
ポイントが貯まったカードを写真に撮って専用フォームから送ると、毎月抽選でさらに特典をプレゼント!

### ポイント付与を行っている回収場所(71か所)

- 県内ホームセンターDCM(33店舗)
- 松山市(9か所)
- 今治市(12か所)
- 東温市(3か所)
- 砥部町(3か所)
- 伊方町(4か所)
- 鬼北町(6か所)
- 松野町 虹の森公園(1か所)



制度の詳細や回収場所はHPからチェック!